

平成19年11月12日

啓発ポスター・保護者用リーフレット・携帯用カードの配布について

近年、携帯電話やインターネットに関わって、人権侵害や金銭のトラブルなどで、児童生徒が被害者や加害者にもなりうる問題事象が急増しています。

奈良市教育委員会では、携帯電話やインターネットによる被害防止や犯罪抑止の啓発を目的として「啓発ポスター」「保護者用リーフレット」「携帯用カード」を作成しました。

11月16日「子ども安全の日の集い」にあわせて、各学校に配布します。

記

- ・配布対象学年      市立小学校5・6年、市立中学校全学年  
市立高等学校全学年
- ・配布物              学級掲示用啓発ポスター（作成部数      1,200枚）  
保護者用リーフレット（作成部数    18,500枚）  
携帯用カード              （作成部数    18,500枚）

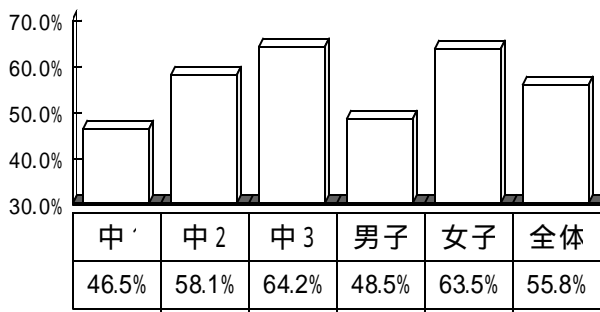
尚、平成19年9月に市立中学校で実施しました、「ケータイについての調査」結果も参考にしてください。

（問い合わせ先）  
奈良市少年指導センター  
T E L    0742-34-4863  
F A X    0742-34-5722

# 奈良市中中学生におけるケータイについての調査結果と考察 少年指導センター

H 19年9月実施 回答者数4967名（中1：1808名、中2：1546名、中3：1613名）

ケータイ所持率(学年・男女・総合)

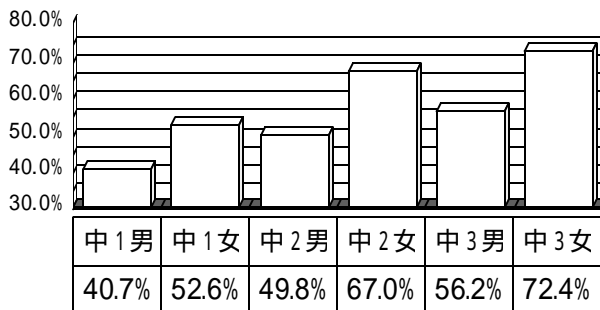


・中学生全体では、55.8%の所持率である。

・学年があがるにつれて率は高くなっている。

・男女間には大きな差が認められ、女子生徒にケータイが普及していることを示している。

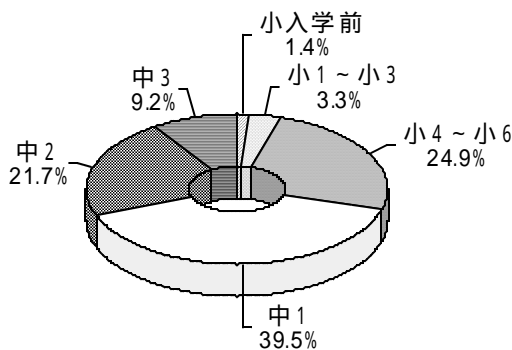
ケータイ所持率(学年男女別)



・学年男女別に見ると、中3女子の所持率は70%をこえた実態が明らかとなっている。

ケータイの所有は若者文化の一部であり、ケータイがないと友達づきあいがしにくい、多機能になったケータイがないと楽しめないという考え方が拡大してきていることと考えられる。

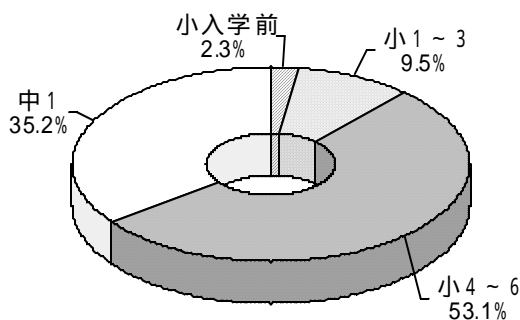
中3生がいつケータイを所持したか



・現在の中3生徒がいつケータイを持ったかについては、約40%の生徒が中1のときに持ち始めている。

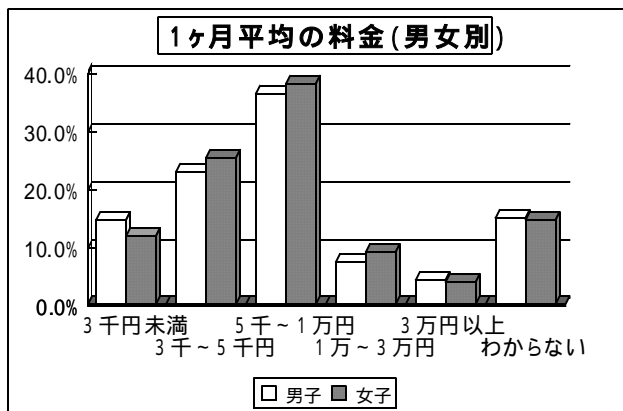
子どもの活動範囲が拡大し、連絡用や防犯対策として持たせるとともに、子どもにせがまれて持たしているということが予測できる。

中1生がいつケータイを所持したか

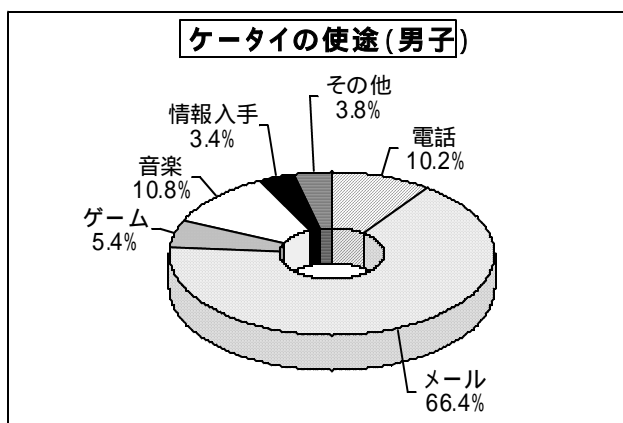


・中1生徒の状況を見ると、中学入学後にもつ生徒は35.2%であり、中3生徒の実態と大きくかわらない。

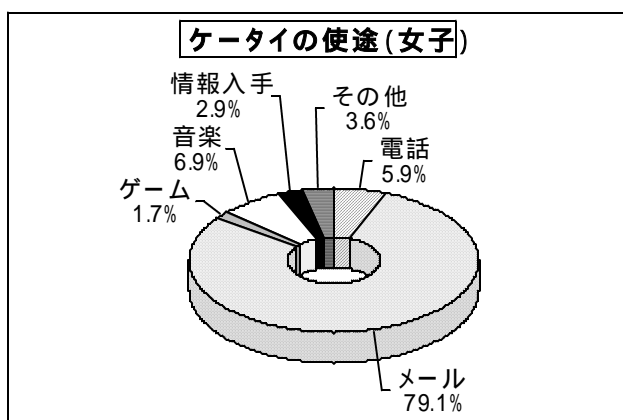
・約53%の生徒が小学校高学年で所持し始めているのが大きな特徴であり、低年齢化が認められる。



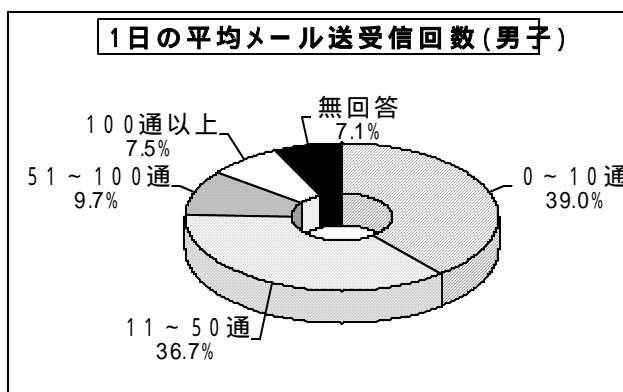
- ・ 1ヶ月の利用料金は5千～1万円かかっている生徒が一番多い。
  - ・ 男女差は特に見られない。
  - ・ 1割以上の生徒の月1万円以上使っており、3万円をこえる生徒が男女とも約4%いる。
- 金銭感覚のマヒにつながっていると心配される。



- ・ 男女ともケータイの使途は、「メール」が一番多く、次いで「音楽を聞く」となっている。
- ・ 男子生徒は「ゲームで遊ぶ」や「電話として利用」が女子に比べて多い。

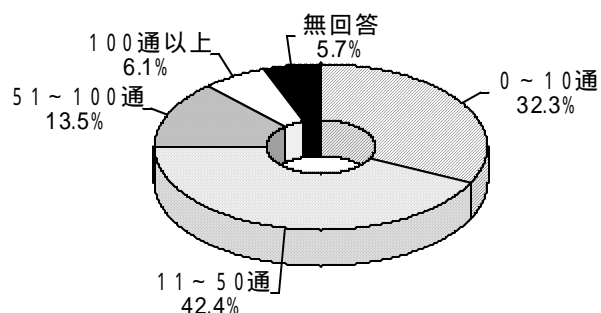


すぐに返事、返信するなどの暗黙のルールもあり、トラブル(送ったのに返してこない等)につながっていると推察される。



- ・ 男子生徒のメール送受信回数は1日あたり、0～10通が39.0%と一番多い。

1日の平均メール送受信回数(女子)

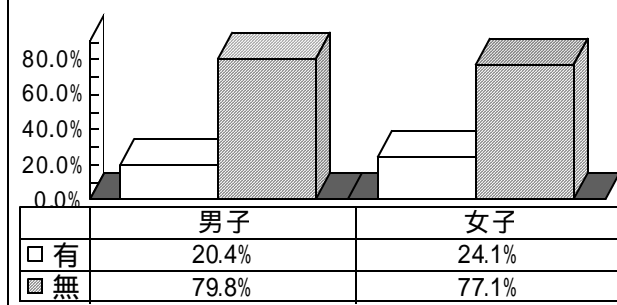


・女子生徒のメール送受信回数は、11～50通が42.4%が一番多い。

ケータイを手放せず、貴重な時間を拘束されている傾向が推測される。

若者言葉の乱れにつながる要因の1つとも考えられる。

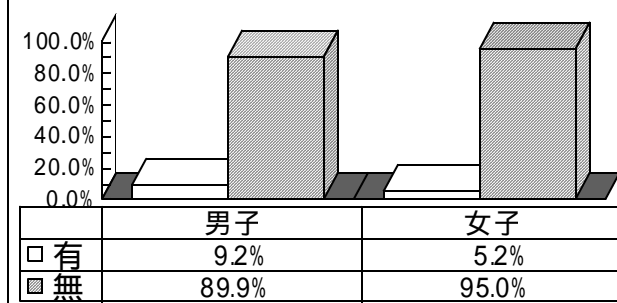
出会ったことのないメル友



・出会ったことのないメル友は男女とも20%を超えている。

実際に会いに行って、トラブルや援助交際に発展しているケースも少なくない。

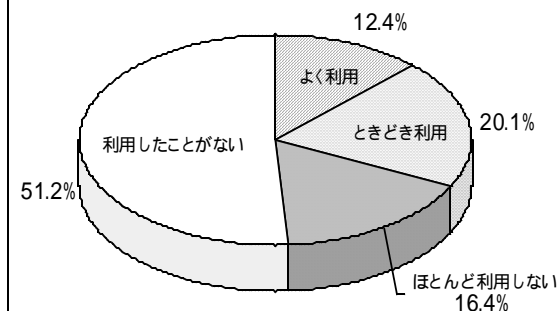
有害サイトを見た経験



・出会い系サイトやアダルトサイト等の有害サイトを見た経験は、男子生徒が女子生徒より高くなっている。

男子の方が高いのはアダルトサイトに興味関心が高いと思われる。

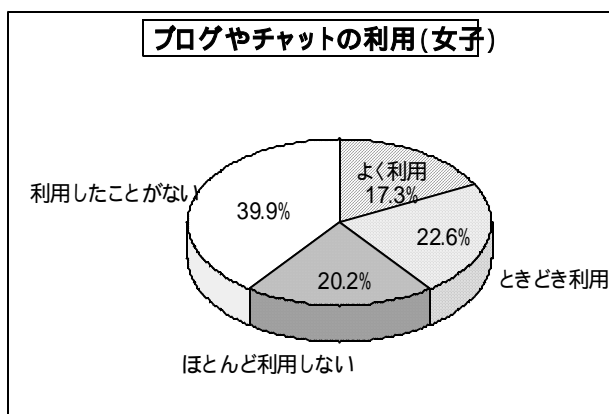
ブログやチャットの利用(男子)



・男子生徒の12.4%がブログやチャットをよく利用している。

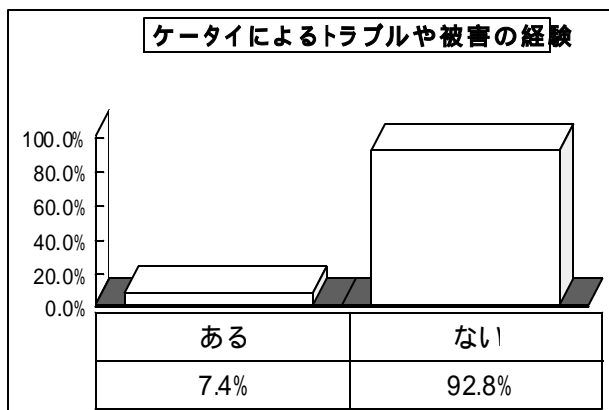
・男子生徒の半数以上はブログやチャットの経験がない。





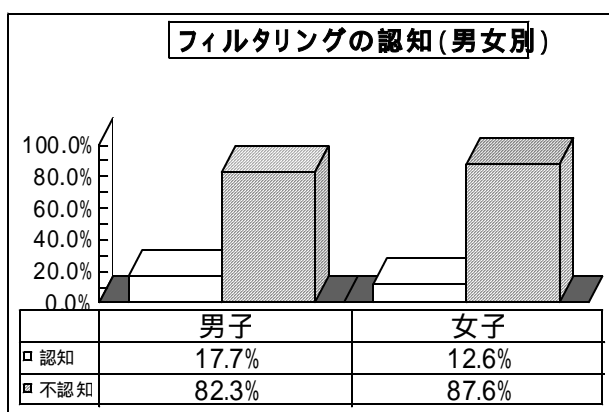
・女子生徒の17.3%がブログやチャットをよく利用している。

匿名によるコミュニケーションにより、相手への配慮が弱まり、他人を誹謗中傷する内容のメールを送ることに発展する可能性が認められる。



・約7%の生徒がケータイによるトラブルや被害にあっている。

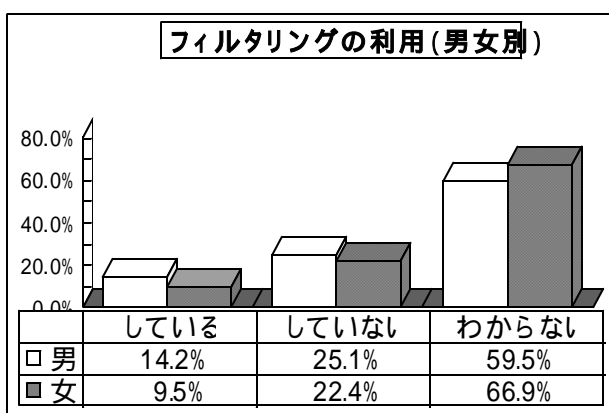
ケータイにインターネット機能が追加された影響がトラブル・被害の増加につながっていると思われ、今後、啓発指導が必要であると考えます。



・有害サイトへのアクセス制限であるフィルタリングを知っている生徒は、男子生徒で17.7%、女子生徒で12.6%である。

予想よりも低く、ケータイの危険性についての継続的指導の必要性を感じる。

・フィルタリングを利用している生徒は、男子で14.2%、女子で9.5%である。



保護者がフィルタリングを知りながら利用していない問題と、ケータイのフィルタリングが子どもたちのニーズと合っていない機能面の問題があると思われ、事業者との連携が必要となる。

**「そんなことができるなど知らなかった」「そんなことをしていると知らなかった」というセリフをつぶやかなくてすむために、ケータイ・ネットの危険性を伝えよう！！**